

『新社長に聞く』

新社長に聞く

◇：社長就任の抱負から聞かせてください。

「田淵明雄会長兼社長（現会長）から社長就任を打診された時の感想は『まさか私が』というものであった。これまで前社長が会長を兼務し当社を引っ張っていたのが当たり前の状況だったので、戸惑ったというのが実感。現在は会長とともに国内外の顧客のもとを訪れ、あいさつ回りをしているつもりだ」

◇：中期経営計画「SK CHALLENGE 8」が昨年12月に終了しました。「振り返ると、最終年

昭和興産 横尾 崇雄 社長



お・たかお 1987年(昭和62年)神奈川県立沼津大学卒業、同年昭和興産入社、17年執行役員、18年取締役、22年常務執行役員、23年専務執行役員、23年表取締役専務執行役員。61歳。

頼られる1000億円企業へ

度には当初の目標であった売上高880億円を上回る890億円を達成できた。海外と環境に絡むビジネスとして水酸化リ

多かった。社内では初の女性管理職が誕生し営業担当者も増えるなど、女性活躍の定着に一歩踏み出したと思う。またこ

計画がスタートしました。「社長就任に近い時期で良いタイミングだったと思う。新中計では社内

のうち海外で120億円を達成したい。配当金も23年度比20%増として株主の期待に応える」

の重点戦略分野として、環境、モレリティ・情報電子、ライフサイエンス、インフラを設定。廃プラスチックをはじめ、2つのキーワードに

推進などにも努める。もう一つのDXの活用と業務標準化では、受発注などの業務のプロセス標準化と効率化、これを効果的に進めるための組織体制の見直しを行う。4月

チウムが中核商品として成長し、新規事業も昆虫原料ビジネスが事業化に向けて進展するなど成果が

からが本番であり、これで満足してはいけないうと考えている」

外に向けて当社が変化していることをアピールし、「取引先・社会から頼

として営業戦略と経営基盤戦略を策定しました。

「こちらも2つのキーワードを掲げた。その1つの人的資本活用では女性管理職10%以上を目標としており、中堅・若手社員の早期育成に向けた

対取引先サービス向上の共有と、AI、RPA、その他新サービスを活用した業務効率化とBCP（事業継続計画）対策強化に取り組むとともに、次期基幹システムの導入を検討する。これらの施策によって『痒いところに手が届く商社』となるよう努力していく」

横 顔 趣味はゴルフで、ウッドはラフでもパーシモンを愛用している。座右の銘は「継続は力なり」。社長就任に対する家族の反応はやや淡泊だったので、少し残念だったをうた。

（聞き手＝東坂慎一）